

授業「内部疾患を有する方の栄養面での留意点」

介護福祉科介護福祉士養成コースの3年生が、1月30日に介護福祉士の国家試験を受験します。また介護員養成コースの生徒も、卒業後、3年間の実務経験を経て国家試験を受験することができることから、両コースの生徒を対象として「内部疾患を有する方の栄養面での留意点」について、**仙台大学の梅津龍先生**から講義をいただきました。



BLOG⇒



〈生徒の感想②〉【平間優香さん、仙台二中出身】

授業で学んだことも沢山でいたので、更に理解を深めることが出来ました。高齢者だけでなく、私たちの普段の生活にもいかすことが出来る内容も多く、今後、実践してみようと思いました。特に、夏場の食中毒については、身近な所にも危険が潜んでいるのだと分かりました。現場に出た際には、利用者の方々安心して過ごしていただけるよう、一層注意をしようと思いました。

〈生徒の感想①〉【田畑萌衣さん、槻木中出身】

国家試験によく出題される疾患について詳しく教えていただき、とても勉強になりました。自分の中で臓器には何が駄目でどんな症状が出るのか、どのような食べ物を制限しなければならないのかが曖昧だったので、今日改めて確認できて良かったです。一分野ごとに練習問題が出題され、国家試験に向けて対策ができました。本日は基本から応用まで教えていただきありがとうございました。



〈講師の梅津先生から〉 介護福祉士国家試験の受験を目指す生徒の皆さん！

今回は、**疾病の栄養管理**について講義を行いました。講義中は真剣に話を聞いてくれ、講義終了後は、積極的に質問をいただく場面もあり、非常に実りのある時間となりました。今回の講義を経て、**介護福祉士国家試験合格**や**合格後の介護福祉士としての知識の一助**になれば嬉しく思います。このような貴重な機会をいただきありがとうございました。

〈まとめ〉 仙台大学運動栄養学科の真木瑛先生の講義に引き続き、今回は**梅津龍先生**から講義していただきました。苦手分野である「**内部障害を有する方の栄養面での留意点**」について、再確認をしながら学習することができました。特に、消化吸収のメカニズムは私たちの身体でも起こっているの、本日の講義を元に早速実践してみようという声がありました。

本日は、御講義いただきありがとうございました。